

健康課題の把握と対策で企業価値アップを目指そう!



健康経営の取り組みが 企業・社会の未来を築く

従業員の心身の健康づくりを推進することで、生産性の向上、優秀な人材確保、離職率の低下、企業のイメージアップなど、さまざまなメリットがある「健康経営」。企業の間ではスタンダードとなりつつあります。今回は健康経営の現状や今後の課題、地域課題に着目した取り組みをご紹介します。

実行のメリット明らかに。経営者の決意が鍵

離職率の低下顕著 認定数は順調に増加

経済産業省が2017年に「健康経営優良法人認定制度」を創設してから5年以上が経過し、その間積み上げられてきたデータから健康経営を行うメリットが明らかになってきています。例えば離職率(下図①)は一般労働者の全国平均11.4%に対し、健康経営優良法人では、4%と2分の1以下。また、有給休暇取得率(下図②)は19年の全国平均が56.3%。それに対して健康経営優良法人の平均が65.6%です。健康経営優良法人は、就活生からの人気が非常に高いとのデータもあり、そのようにして集まった優秀な人材が、しっかりと企業に定着し休



東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 辻 一郎 教授

暇を取れているという点です。では業務内容はどうかという点、健康経営銘柄に選定された企業の平均株価は、東証株価指数を上回る形で推移しています。健康経営優良法人認定数を見てみると、21年と22年の全国での比較で、大規模法人が1801社から2299社、中小規模法人が7934社から12255社と順調に増えていきます。宮城県では、大規模法人は2社増加とやや停滞ですが、中小規模法人は168社から266社と全国に引けを取らない増加数です。健康みやぎサポーターズの取り組みが、会けんほ宮城支部のサポートの効果が表れていると思います。

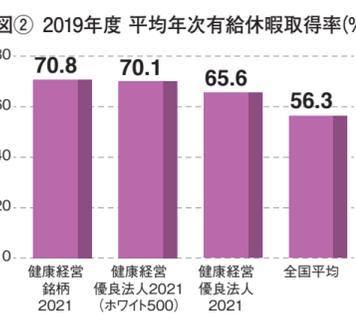
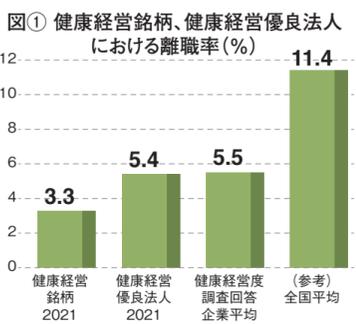
三つの要素が追加 地域貢献目指す動きも

健康経営の裾野拡大を図るため、21年度から健康経営調査に新たに加わった展開が三つあります。①情報開示の促進②業務パフォーマンスの評価③スコープ(範囲)の拡大です。①は調査の評価結果(フイー

ドバックシート)や、健診受診率、喫煙率、高ストレス率などの定量的指標を積極的に開示すること、②は労働生産性に影響を及ぼす三つの指標「アブセッセイム」「プレゼンティズム」「ワークエンゲージメント」を企業自ら測定し評価・分析を行うことです。そして③は健康経営の範囲を、取引先、グループ企業、地域など、社会全体に広げる動きの促進。企業が自社の商品・サービスを通じて社会の健康に寄与することを、健康経営として意味付けようというものです。自社だけが良ければというのではなく、地域全体に貢献するところを評価しようという動きは大きな変化です。

メンタルヘルス対策は コロナ禍喫緊の課題

コロナ禍が2年以上続いた現在、その影響が最も深刻なのがメンタルヘルスの問題です。世界でも20年の1年間で、うつ病性障害は5320万人増加しています。この数字は前年比28%増。国内でも若年層や女



管内の健康理解推進へ。独自の工夫凝らす

生活習慣の特徴に着目 異なる健康課題啓発へ

県健康保険所は、管内の企業、住民に健康への理解を深めてもらうため独自の取り組みを行っています。同保健所の管轄地域は塩釜、岩沼、黒川の3圏域の5市7町1村にわたります。それぞれ環境の異なる地域へ効果的に健康情報を伝えていくことを試行錯誤しながら進めてきました。



塩釜地区、岩沼地区、黒川地区それぞれの健康課題を啓発するポスター

「夕食時間が遅い」などの特徴が判明しました。16年に宮城県で「スマートみやぎ健民会議」がスタートしたことを機に、塩釜、岩沼地区でも健康課題調査を実施。塩釜地区は「朝食欠食者が多い」、岩沼地区は「夕食後の間食や早食いが多く」、各地区のメタボにつながるやすい生活習慣を絞り込むことができました。その結果を受け18、19年度には各地区向けの健康課題をキャッチコピーにしたポスターを作成・配布。それぞれ、一歩踏み込んだ啓発を行っています。

健康づくりの取り組み 広報紙で情報共有

大崎保健所と連携して毎年実施する「歩数アップチャレンジ」は、18年から黒川・岩沼地区、19年から管内の事業所へ参加を呼び掛け、2カ月間の歩数を3人1組のチームで競うもの。昨年コロナ禍の実施では「事業所内で励まし合うことで会話・交流が生まれた」などの声も多く聞かれ、社内のコミュニケーションツールとしても役立てられました。歩数アップチャレンジは今年度から全県の取り組みに事業を拡大。7月から参加者募集が始まる予定です。管内で健康づくりに積極的に取り組む事業所の事例は、同保健所が

歩数アップチャレンジ 2022

対象 宮城県内の事業所

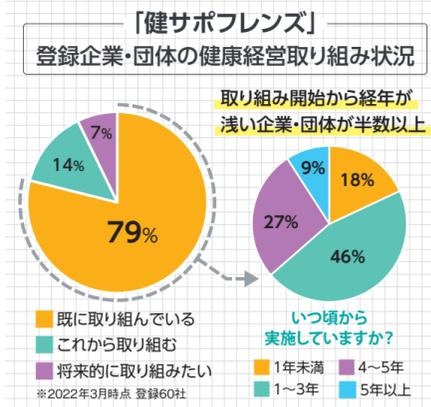
期間 7月から参加者募集、10月から実施予定

詳しくはこちら

健サポフレンズ登録企業 増加中!



「健サポフレンズ」は、職場における従業員の健康づくりに関心のある企業・団体に登録いただく会員組織です。河北新報社が健康経営実践のサポートをはじめ、職場での健康づくりに役立つさまざまな情報をご提供します。



- #### 健サポフレンズ登録のメリット
- 「健康経営勉強会」などに、優先的に参加可能
 - 「健康経営情報紙」などを職場まで、優先送付
 - 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介
 - 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプリング・ミニセミナーなど

登録料・会費 無料 健サポフレンズ新規登録はWEBサイトから

<https://www.kahoku.co.jp/ad/health-supply/entry/> 健サポフレンズ 検索

お問い合わせ 健康みやぎサポーターズ事務局(河北新報社営業局営業部) Tel.022-211-1318 10:00~17:00(平日のみ) 企画・制作/河北新報社営業局

健康経営勉強会

健康にいきいきと働ける職場をつくる

できることから始めよう

会場&オンライン 同時開催

参加費無料 (要申し込み)

会場参加 河北新報社別館5階ホール

WEB参加 ライブ配信 開催日時 8月2日(火) 13:00~14:30 予定(会場受付12:30~)

対象 企業の経営者・健康管理者ほか ※応募多数の場合は抽選となります。

7月上旬 詳細告知予定

健サポフレンズ登録企業の方には事務局よりご連絡いたしますので、ぜひご登録ください。